

【議事1】基本構想の振り返りについて

○ 社会情勢

基本構想では、日本全体の社会情勢を踏まえ、今後対応が必要な課題として主に以下の9項目を整理しました。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| (1) 人口減少社会と超高齢社会への対応 | (6) 先行き不透明な経済情勢 |
| (2) 地球温暖化など地球規模の課題への対応 | (7) 多様化するライフスタイルや価値観 |
| (3) デジタル社会への対応 | (8) 地域コミュニティの変化への対応 |
| (4) 安全・安心で持続可能な社会に向けた備え | (9) 持続可能で効率的な行財政運営の必要性 |
| (5) 鳥獣害対策の重要性 | |

○ 町の課題

昨年度実施した町民アンケートや各課ヒアリング等から、人口減少や少子高齢化への対応、地域コミュニティの維持、担い手不足、地域経済の活性化、公共交通、情報発信など、さまざまな課題が明らかとなりました。

○ 基本構想

これらの社会情勢や町の課題を踏まえ、新たな基本構想では4つの政策を柱として設定し、町の将来像として定めた

「つながりと安らぎのなかで 住みつづけたいまち みのぶ
～『生まれてよかった 育ってよかった 住んでよかった』と思えるまちを目指して～」
の実現を目指すこととしました。

本年度は、この基本構想に基づき前期基本計画を策定します。

基本計画では、4つの政策ごとに施策を設定するとともに、その施策を実現するための主な取組を整理し、今後5年間の具体的なまちづくりの方向性を定めていきます。

図1 基本構想体系図

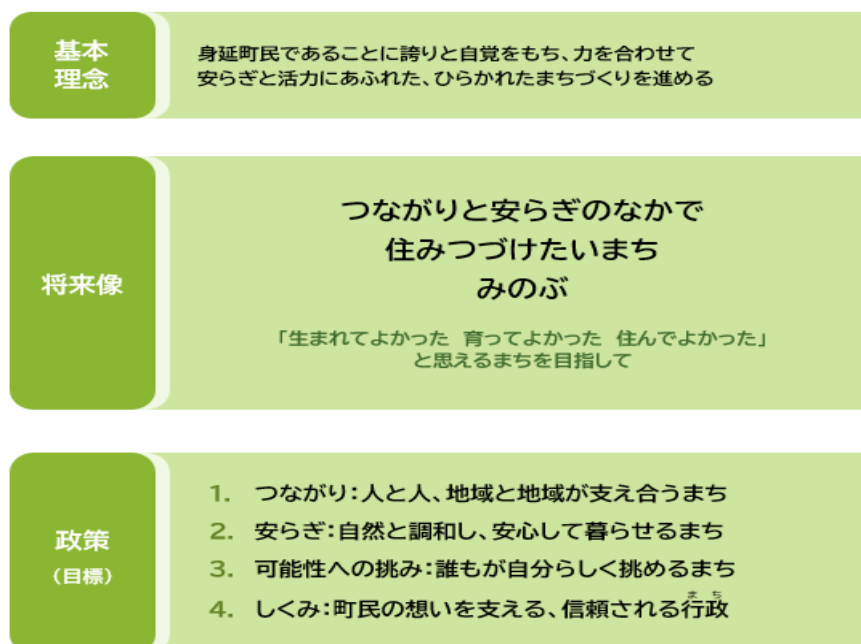


図2 基本構想概念図



【議事２】前期基本計画について

基本構想で定めた将来像と４つの政策を踏まえ、前期基本計画に位置付ける施策案について、各課において検討を進めています。

検討に当たっては、職員が総合計画を自分事として捉えながら施策形成を行うことを目的に、３回にわたる職員研修を実施しました。

○ 職員研修実施経過

（１）趣旨

次期総合計画基本計画の策定にあたり、職員自らが施策を検討し、計画づくりへの参画意識を高めることを目的として職員研修を実施しました。

研修では、現行計画の取組状況や課題を整理するとともに、将来像や政策とのつながりを意識しながら施策及び主な取組について検討を行いました。

本資料は、職員研修の結果を踏まえ整理した施策体系（案）について、庁内で確認・協議するため作成したものです。

（２）職員研修の実施概要

第１回研修

【目的】総合計画の役割を理解する ・ 将来像から施策へつながる考え方を共有する ・ 現状及び課題を整理する

【主な内容】総合計画の構造説明 ・ ロジックモデルの考え方 ・ 現状、課題、原因の整理 ・ 政策ごとの意見交換

第２回研修

【目的】施策形成の考え方を学ぶ ・ 施策と主な取組の関係を整理する ・ 次回以降の施策確定に向けた方向性を共有する

【主な内容】前回研修の振り返り、施策案の再検討、主な取組の整理、施策と政策との関係整理

第３回研修

【目的】施策・事務事業・成果指標の関係性を理解し、実施可能かつ評価可能な総合計画を自ら構築できる力を養う

【主な内容】主な取り組みのチェック（事務事業との確認）・アウトプット指標の検討

（３）研修を通じたまとめ

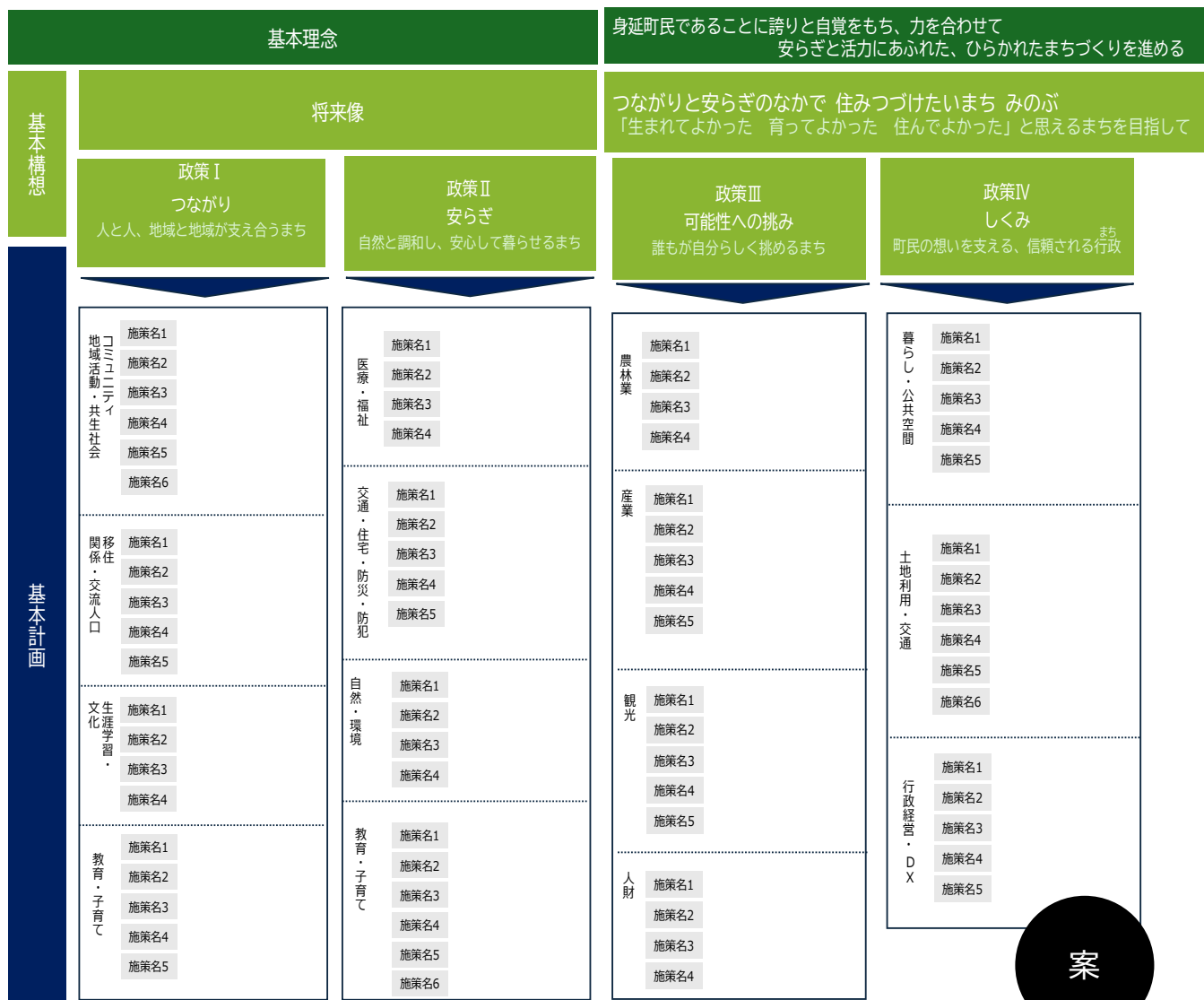
３回にわたる研修を通じて、総合計画の考え方や施策形成のプロセスを学ぶだけでなく、その学びを各課が「施策検討シート」の作成・修正に反映することで、職員自らが次期総合計画を作り上げていくプロセスを進めることができました。

現状・課題の整理から施策、主な取り組み、事務事業、成果指標へと段階的に検討を重ね、将来像の実現に向けた施策体系を職員自ら構築していく共通認識が醸成されました。今後は、各課でさらに内容を精査しながら、職員主体による総合計画・総合戦略を策定いたします。

○ 基本計画構成案

(1) 計画の構成

基本計画は、基本構想で掲げた政策と施策で構成します。



(2) 各施策の構成

4つの政策に紐づく各施策について、以下のとおり内容をまとめます。

政策の名称です。

例

政策Ⅰ つながり 人と人、地域と地域が支え合うまち

【教育・子育て分野】

(成果指標)

目指すべき将来像の達成状況を把握するための指標として Well-being 指標を設定します。

指標名	指標の説明	単位	現況値
			R7
こどもの暮らしやすさ	■Well-being 指標 アンケート調査による町民の満足度を示す。	5段階 評価 (1~5)	2.72

※Well-being 指標の詳細については、注釈を入れます。

施策1 子ども・子育て支援サービスの推進

施策の名称です。

(1) 現状

施策に関する現状と課題をまとめます。

- 令和7年度に実施した町民アンケートでは、「こどもの暮らしやすさ」に対する満足度は全体平均を上回っており、子育て環境については一定の評価を得ています。
- 保育所等における待機児童数は0人となっており、子育て支援サービスは一定程度確保されています。
- 一方で、出生数及び子どもの数は減少傾向にあり、保育所等の利用者数も減少しています。

(2) 課題

- 子どもの数が減少する中においても、保育や子育て支援サービスの質を維持し、安心して子どもを産み育てられる環境を確保していく必要があります。
- 利用者数の減少に伴い、施設運営の効率化が求められる一方で、サービス水準の低下を招かないよう、持続可能な運営が求められています。

将来像と政策を実現させるために実施する主な取り組みを記載します。

(3) 主な取り組み

① ×××× ② ×××× ③ ×××× ④ ×××× ⑤ ×××× ⑥ ××××

(4) アウトプット指標

指標名	指標の説明	単位	現況値	目標値	
			R7	R12	R15
子ども・子育て支援事業計画	計画に基づき進捗・達成度を管理				

アウトプットとなる指標を入れます。職員の負担軽減のため、なるべく紐づく計画と連動した指標とします。

【議事3】 施策一覧について(別紙参照)

【議事４】令和８年度スケジュールについて

月	総合計画審議会 (６回)	総合計画策定委員会 (庁内) (６回)	庁内研修 (３回)	その他
４月			①政策形成研修・基本構想の振り返り	
５月			②施策の検討	【中旬】 基本構想議案提出
６月		①施策の検討 (１)		
７月	①計画概要 スケジュールの確認 施策の審議 (１)		③成果指標の検討・ 総合戦略の検討	
８月	②施策の審議 (２)	②施策の検討 ③成果指標の検討		
９月	③成果指標の審議・総合 戦略の審議		9月定例会	
10月	④素案の審議 【下旬～11月初旬】	④素案の検討		
11月				【上旬】 当初予算要求期間 (～12月上旬)
12月	⑤最終案の審議	⑤最終案の検討	12月定例会	【中旬～1月中旬】 パブリックコメント 議員への意見照会
1月				
2月	⑥確定案の審議【初旬】	⑥確定案の検討		【中・下旬】 答申
3月				【上旬】議会